



FARMIGOについて

株式会社ファーミゴは、2020年に株式会社マイファームと千葉エコ・エネルギー株式会社の2社の合併会社で立ち上げた新たな農業ベンチャーです。これまで2社が培ってきた農業や自然エネルギーの実績を活かして、ソーラーシェアリングの自社開発を全国各地で行っていきます。



株式会社マイファーム



千葉エコ・エネルギー株式会社

株式会社マイファーム (代表取締役 西辻一真)

「自産自消」＝「自分でつくって自分で食べる」ことのできる社会を目指して、体験農園や農業学校の運営、農産物の生産、流通販売事業等に取り組む企業です。全国で野菜づくりを楽しむ人を増やし、農産物を自然まるごと食すことの感動を伝え、自然と共に生きる「農業者」を応援することで、人と自然が近く、互いに育み合う未来の実現を目指している会社です。

千葉エコ・エネルギー株式会社 (代表取締役 馬上丈二)

「自然をエネルギーに エネルギーを未来に」を合言葉に、地域とエネルギーの未来を考える千葉発の環境・エネルギー系ベンチャー企業。営農型発電(ソーラーシェアリング)のトップランナー企業として、全国各地で企画、立ち上げ、運用、自社開発、研究支援を行っています。

会社概要

会社名 株式会社FARMIGO (ファーミゴ)
資本金 750万円
役員 代表取締役 石原北斗
取締役 西辻 一真 馬上丈司
監査役 谷則男
設立 令和2年8月4日
住所 〒600-8216
京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階(株式会社マイファーム内)
連絡先 TEL: 075-746-6213/FAX:075-746-6214

代表者・経歴



石原北斗

東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術の技術開発・普及に関する研究に関わる。農産物専門商社を経て、2012年マイファーム入社、アグリイノベーション大学校の立ち上げに関わり、農学講義および農場実習講義の講師として新規就農者の育成に取り組む。現在は、生薬栽培や産地支援、中国/東南アジアにおける農業生産事業、ソーラーシェアリングなど、生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括している。2020年、株式会社FARMIGO 代表取締役就任。

プロジェクト①

株式会社ファーミゴはソーラーシェアリング（太陽光発電×農業）で持続可能な未来を共につくる会社です。

ソーラーシェアリングによる発電×農業

全国の遊休農地・耕作放棄地を活用した農業生産&発電事業。

地域特性や、土壌条件、規模、等により最適な営農品目や設備設計を行い、効率的な農業生産を行います。

電気の”自産自消”

電気の自産自消を目指して、作った電気の農業設備での利用、農業電化を目指しています。

また、地域施設、事業者への電力販売も実施し、農家が作る自然エネルギーの供給も行っています。

農業×電気で地域を”明るくする”モデルづくり

地域に根ざした新たな生産拠点を全国に作っていくことで、人が集まり明るい地域を作っていきます。

株式会社マイファーム（グループ会社）で運営する農業学校の卒業生も連携した人づくり・地域づくりを目指します。

ソーラーシェアリングとは

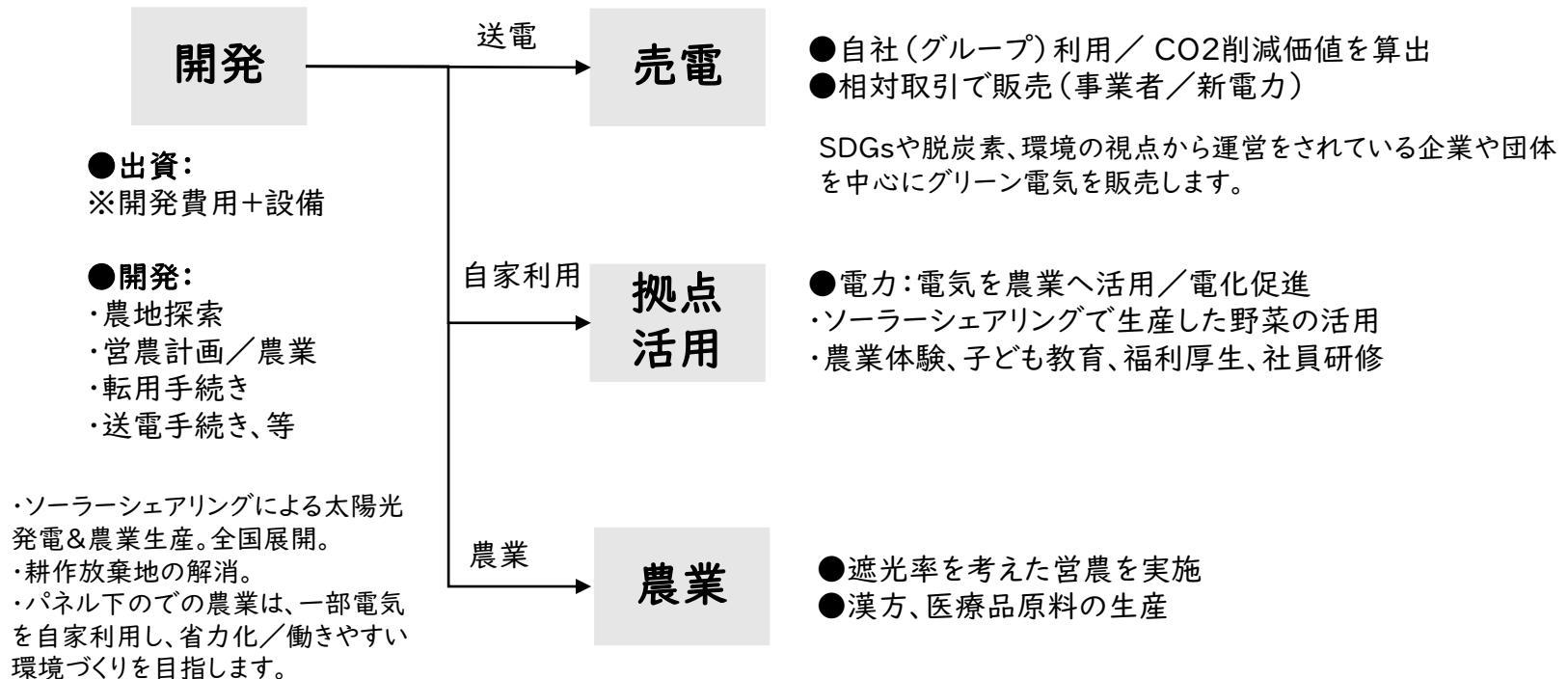
農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業と発電事業を同時に行うこと。

パネル下の栽培に影響が出ないように、遮光率や環境条件から詳細設計し、トラクターや収穫機など農業機械の利用にも影響が少ないようにして行います。全国的に、耕作放棄地の増加は地域で問題となっており、農地の利活用と担い手の育成が急務です、また発電視点では、脱炭素の動きから自然エネルギーの電源開発が求められており、ソーラーシェアリングにも注目が集まっています。

【事業の背景とニーズ】

再生エネルギーのニーズは高まっていますが、太陽光パネルを設置できる土地が少なくなっており、農地の活用が求められています。一方で、農業側では耕作放棄地の拡大(40万ha以上)が深刻な問題となり、農地の利活用や地域の新たな担い手づくりが急務です。そこで、貴社および貴社の関係先を主な対象にした、農業×太陽光で作った電気を“グリーン電気”として販売および自家利用を進めます。電気を使うことが農業の活性化に繋がり、地域を”明るくする”ことに繋がるモデルづくりを広げていきたいと考えています。

【事業スキーム】



プロジェクト②

ソーラーシェアリング×電力の農業利用×アグリテックの活用／連携を目指して進めています。



【参考】現在運用している案件の概要（完工済）

概要

場所：千葉県長南町
ソーラーシェアリングサイト：3か所
面積：6244m²
発電出力：297kWp
パネルの角度：15度
パネル設置高さ：3.4m
平均遮光率：30%



※3サイトのうち、2サイトは完工、1サイトは、2021年秋予定

農業生産

さつまいもの生産を中心に実施
販売は、株式会社マイファームの通販および茨城県のサツマイモ会社にて全量販売予定
2年目以降、年間8トンのサツマイモを収穫見込み
(トラクターやハーベスタなどの利用に問題がないようにパネル／架台を設計しています)